

第4章 施策評価の結果

1 結果の概要

江南市では、第6次総合計画の進行管理を行うため、行政評価を行っています。市民と行政の協働により、総合計画に設定した目標を実現するため、行政が行う大きな行政活動単位である施策の評価と、個々の事務事業について、達成状況や効率性などについて評価する事務事業評価を行いました。

実施対象施策・事業数
 ・施策 75施策
 ・事務事業 559事業

(1) 分野ごとの成果の達成状況

(件)

	施策数	設定した 成果 指標数	成果の達成状況の評価			
						—
I まちづくり分野	20	40	29	4	4	3
II ひとづくり分野	14	43	23	4	12	4
III しごとづくり分野	5	9	6	2	0	1
IV ちいきづくり分野	17	45	27	7	6	5
V 行政分野	19	33	22	5	3	3
合 計	75	170	107	22	25	16

:90%以上達成した :70%以上達成した :達成していない —:達成状況の評価が困難

(2) 事務事業の評価結果

<必要性>

公的関与の必要性や社会情勢及び市民ニーズから事業の『必要性』をA・B・C・Dの4ランクで判定しました。

評価	事務事業数
A 必要性が高い	89
B 必要である	468
C 必要性が低い	2
D 必要でない	0

<有効性>

総合計画において、市長の戦略政策や成果目標の達成に資する度合いや、サービス水準の設定から事業の『有効性』をA・B・Cの3ランクで判定しました。

評価	事務事業数
A 非常に有効である	527
B ある程度有効である	32
C 有効でない	0

<達成度>

設定した成果目標に対する『達成度』をA・B・Cの3ランクで判定しました。

評価	事務事業数
A 大幅に達成している (目標を上回る成果があがっている)	7
B 達成している (概ね目標どおり達成している)	552
C 達成していない (目標を下回る成果しかあがっていない)	0

<効率性>

事業の手法について、実施主体の妥当性や事業費・人件費などの経済性の観点から事業の『効率性』をA・B・Cの3ランクで判定しました。

評価	事務事業数
A 高い(改善の余地はほとんどない)	533
B どちらともいえない(改善の余地は少ない)	26
C 低い(改善の余地は大きい)	0

<総合評価>

上記の「必要性」、「有効性」、「達成度」、「効率性」の4項目の判定結果から、総合評価として「継続」、「改善」、「見直し」、「休止・廃止(「完了」含む)」の4項目で判定しました。

評価	事務事業数
継続	543
改善	1
見直し	1
休止・廃止(「完了」含む)	14

2 シートの見方

施策評価(令和7年度実施施策)の結果

【分野: I まちづくり分野】

【柱: 1 環境保全】

第6次総合計画に基づく
成果体系における
分野名
柱名

施策の
名称
担当部・課名(令和8年度)
を記載しています。

施策名	環境保全への意識の高揚	担当部・課	経済環境部 環境課
-----	-------------	-------	--------------

1 施策概要

めざす成果	環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる
-------	---------------------------------

2 決算額

(単位:円)

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	-	22,800,858	34,868,159
特定財源	国庫支出金	-	5,964,000
	県支出金	4,973,000	9,834,100
	地方債	-	0
	その他	-	0
一般財源	-	-	19,070,059
(うち政策的事業)	-	-	(2,904,260)
(うち一般事業)	-	(17,827,858)	(16,165,799)

実施計画に主要な事務事業として掲載している
「政策的事業(戦プロ、臨時)」
と、それ以外の事業である
「一般事業」
に区分して一般財源を掲載しています。

施策の決算額を3年度分記載しています。

※第6次総合計画後期基本計画の開始年度が令和6年度のため、令和5年度の決算額は記載していません。

達成率の計算方法

【目標値が上昇していく指標】

実績値 ÷ 目標値 × 100%

【目標値が減少していく指標】

目標値 ÷ 実績値 × 100%

※ 目標値が矢印(↑・↓)の指標は、基準値で算出しています。

3 成果の状況



: 90%以上達成した



: 70%以上達成した



: 達成していない

指標名 (*は基本計画に掲載していない指標)	単位	基準値	目標値	実績値	達成状況 (達成率)
動を行っている市民の割合	%	47.2 (H29)	—	—	—
りの二酸化炭素排出量	t-co2/ 人・年	5.70 (H27)	4.74	4.27	(111.0%)
「カーボンシティ宣言」を知っている割合	%	15.1 (R5)	—	—	—

成果の状況について
令和7年度の
目標値
実績値
達成状況
(達成率)
を記載しています。

目標値は第6次総合計画の
後期計画期間終了年度(令和9年度)
の目標値を上限値としています。

4 成果と課題の分析

成果の要因分析・施策の課題など

施策の成果と課題について
成果の要因分析
施策の今後の課題など
を記載しています。

個人・企業におけるクリーンエネルギー等の利用をさらに促進するため、県の動向も踏まえてゼロカーボン推進金の補助対象の拡大を検討していく必要がある。

施策に係る事務事業の
決算額
評価結果
を記載しています。

事務事業の決算額を3年度分記載しています。

※第6次総合計画後期基本計画の開始年度が令和6年
度のため、令和5年度の決算額は記載していません。

5 施策の実現手段となる事務事業の評価結果

事務事業	主要 施策	決算額(円)			評価結果				
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
1 環境啓発事業		-	190,288	176,610	B	A	B	A	継続
2 環境基本計画推進事業		-	199,160	192,160	B	A	B	A	継続
3 温暖化防止事業	■	-	20,372,263	33,652,842	A	A	B	A	継続
4 環境教育事業		-	913,522	846,547	B	A	B	A	継続

■マークが付いている事務事業は、別ページに詳細を掲載しています。
掲載対象事業は、以下の事業です。
・実施計画に掲載した政策的事業(戦プロ、臨時)
・主要な一般事業

評価結果について

必要性	A: 必要性が高い B: 必要である C: 必要性が低い D: 必要でない						
有効性	A: 非常に有効である B: ある程度有効である C: 有効でない						
達成度	A: 大幅に達成している(目標を上回る成果があがっている) B: 達成している(概ね目標どおり達成している) C: 達成していない(目標を下回る成果しかあがっていない)						
効率性	A: 高い(改善の余地はほとんどない) B: どちらともいえない(改善の余地は少ない) C: 低い(改善の余地は大きい)						
総合評価	【総合評価判定方法】 右図のとおり各判定指標の結果の組合せにより判定 【必要性 + 有効性】 ↑ 高 <table border="1"> <tr> <td>改善</td><td>継続</td></tr> <tr> <td colspan="2">見直し</td></tr> <tr> <td colspan="2">休止・廃止</td></tr> </table> ↓ 低 ← 低 → 高 【達成度 + 効率性】 継続: 継続して事業を進めることが適当な事業 改善: 実施方法等に改善が必要な事業 見直し: 事業規模・内容、実施主体等の見直しが必要な事業 休止・廃止: 事業の抜本的な見直し、休止・廃止の検討が必要な事業 完了: 評価対象年度に完了した事業	改善	継続	見直し		休止・廃止	
改善	継続						
見直し							
休止・廃止							

